

NO 5 多摩川河畔に揚水によるせせらぎ流水公園

概要

多摩川の中・下流域の水は単に眺めるだけで子供たちが水に触れ遊ぶことは出来ません。そこで多摩川の水を揚水して河畔に平瀬 早瀬 ワンドを作り、子供が水に触れ遊ぶことのできる、せせらぎ流水公園を作りたい。そのせせらぎに魚が遡上し住みつくような環境ができれば素晴らしい!!

一方多摩川の水は一級河川でワースト 10 の常連となる状況より少しでも改善するため、せせらぎの自然浄化作用の可能性を試したい。
せせらぎ公園の入り口、出口の COD、BOD を測定し、四季、天候の影響をみるテストの場としたい。清冽なあの多摩川の水を汚したのはやはり川崎市民と東京都民の責任であり、少しでも浄化する方法を模索したい。

揚水によるせせらぎ流水公園のイメージ

多摩川河畔に 500-1000TON/時の水を揚水し、早瀬・平瀬・ワンドをつくり水を流す。距離は長いほうがよいのでまず 5Km を考える。平均巾 20M 深さ 10cm で 500T/時の水を流したとき平均滞留時間 10 時間となり COD、BOD の低減が期待できる。また水の一部は地下に戻り伏流水となり地中での浄化作用が期待できる。

今後まず検討すべき事項

1. 実施にあたりどういう問題点があるのか PICKUP
2. 子供が水にふれ遊び、危険のない流水公園のデザインはいかに
3. 台風冠水に強くその後揚水による流水のみで復元できるノウハウをもつところがあるか
4. 河畔に常時水を流し一部の水が地下に伏流するとき河川の安全上の問題はないか
5. 市の研究所の協力をえて、せせらぎ流水による浄化の最適化
6. 一級河川は国の管理下にあり実施の可能性のアプローチ